



ききょう便り

平成19年 夏号(第10号)



ききょうの里夏祭り G-FIVEショー

ききょうの眞心サービスに向かって

理事 金井敬司

今、老人介護は、住民福祉の最大課題に相違ない。世界一の長寿国の中にあるわが地域にも、現状に諸問題ある施設運営が乱立とも言える昨今、わが「ききょうの里」が大変な実績と利用者からの大きな評価は、運営努力は勿論であるが、職域内の個々担当の皆さんの、日夜を分たすの努力の結晶であることに誇りを感じ、関係各位に改めて感謝を申し上げたい。この上は、この事実を奢ることなく次々に当面する課題に挑戦し、「ききょうの里」ならではの「眞心サービス」に向かって職域内一丸となって行動することを提唱したい。

現状、援助公費も充分とは言えず陣容にも限りある中で、命ある老人に使命責任のある職員一人ひとりの新たな意識の転換に期待をしたいのは、一理事の私だけの願いではないと存じます。まずは職域の介護に携わる個々が、それぞれの仕事、課題に立向かう日夜に不平不満も大小あろうが、仕事内容の責任ある立場を再認識していただき、感情や派閥的なチーム・ムードを排除することが肝要であろう。職員一人ひとりが人として老人という人に対しての施しをもう一度、表裏のない公平で偏重のない立場に照らしてみても仕事に立向かうことが、受けとめ方では難しいと思うでしょうが現実論として求められる基本としてご理解をいただき、職務行動を見直したら素晴らしい「ききょう」として再評価されるでしょう。人が人を認めあい思いやりの心を持つことに、実践への自助努力を期待させていただきます。

要は、仲良い土壌を作り上げ、明るい仕事のし易い職場づくりから生まれる質の高い、他施設に誇れる「ききょう」の眞心サービスを打ち立てて戴きたい。

社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうデイサービスセンター
沼田市在宅介護支援センターききょう
〒378-0002 群馬県沼田市横塚町957-2
TEL 0278-23-8831

ききょうの里居宅介護支援事業所
ききょうヘルパーステーション
ききょうの里短期入所生活介護事業所
〒378-0002 群馬県沼田市横塚町957-2
fax 0278-23-8832

ききょうの里（従来型）

ききょうの里では、7月15日に横塚祇園祭りと共催で「ききょうの里夏祭り」を行いました。

勢力の強い台風4号が関東地方に接近するという事で心配されていた天候もお昼近くには回復し、地域の方々にもたくさん参加して頂くことができ、盛大なお祭りになりました。

当日は、そろいのハッピーを着た職員が、焼きそばや綿菓子などの模擬店を開き、利用者の皆様に夏祭りの雰囲気味わっていただきました。また、群馬のヒーロー「超速戦士 G-FIVE」のショーも開催され、お子様達と一緒に楽しめました。

昨年からは職員による「ソーラン節」の披露では、皆さんからたくさんの拍手をいただきありがとうございました。

また、利用者の皆様が毎年とても楽しみにされている迫力ある横塚町みこしに「わっしょい！わっしょい！」と元気に手拍子をしながら、楽しい時間を過ごすことができました。

これからも、地域の皆様と交流をもてる行事を開催していきたいと思えます。



ユニット型（大地グループ）

大地ユニットでは、日々の生活の中で少しでも利用者の皆様に体を動かしていただこうと思い、午前と午後にリズム体操等を行っています。

利用者の皆様に人気なのは『きよしのズンドコ節』『365歩のマーチ』です。音楽がかかると振り付けも覚えられていて、自然に手足を動かされ何度もリクエストの声がかかるくらいとても楽しんでます。



お天気の良い日は、なるべく外へ散歩にでかけます。近所を一周してきますが、畑の作物をみて昔の畑仕事をしていた頃の事を話されたり、季節の花をみて「この花は〇〇なんだよ」と職員に教えてくれます。

リズム体操や散歩の時は利用者様のとてもイキイキとした顔がみられます。これからも利用者の皆様に喜んで頂けるようなレクリエーションを考えて行きたいと思えます。

ユニット型（大空グループ）

大空・大地ユニット合同で、5月14日の日曜日に「母の日」のお祝いをしました。

今年は、お花紙で作った手作りのカーネーションを、1本1本感謝の気持ちを込めながら女性の利用者様に手渡しました。皆さんピンクや赤、オレンジといった色とりどりの花に目を細めて喜ばれていました。

3時のおやつは、イチゴケーキを手作りしました。ケーキの甘い香りに包まれたリビングでは嬉しそうな顔をされて出来上がりを楽しみにされていました。イチゴとクリームでデコレーションされたケーキを皆「美味しい」とたくさん食べられていました。

『歳をとっても、おばあちゃんになっても「母の日」といって祝ってくれることは嬉しい』と大変喜んで頂くことができました。



ききょうデイサーピスセンター



☆あじさい見学☆

今回初めての試みとして、ドライブを兼ねたあじさい見学を川場村の吉祥寺様のご協力により実施しました。

6月下旬に予定しましたが天候不順で花の咲くのが遅く、予定より一週間延期になり7月2日から6日にかけて行って来ました。

色鮮やかなあじさいを車窓から眺め、利用者様は『わぁ～綺麗だね』、『みんなで来ることが出来て良かったね』と大変喜んでいました。

☆買い物☆

毎年、恒例となっている買い物ツアーを、7月9日から14日にかけて行いました。

何日も前から待ち遠しい様子で、『買い物に行ったら、〇〇買うんだ』というような会話も聞かれました。雨の日もありましたが、ボランティアの方々のご協力もあり、店内を回り普段なかなか買い物へ行けない利用者の皆様の喜んでいた様子が見受けられました。また、会話を楽しめながらの買い物は、「気分転換にもなった」との声もありました。

今回もボランティアの皆様のご協力により外出する事ができ感謝しております。

ききょうNPA-ステーション

積極的に研修参加しています！

5/27(日)【介護保険制度とヘルパー業務のあり方】・【利用者主体の生活支援を考える】

- ・アトラクションでは、あのど自慢で優勝した渋川の県立盲学校2年の清水君のコンサートがあり感動しました。

7/8(日)【夏野菜を使った簡単レシピ】・【太極拳】

- ・調理試食後、太極拳で日頃のストレスも解消されました。

7/10(日)【認知症の理解と対応】

- ・6時間の講習でしたが、専門家の指導を得て理解が深まりました。

☆ 定例会の時に、それぞれ伝達講習を行い調理の試食も行っています。



給食係

「高齢者ソフト食」という言葉を耳にしたことがありますか？

現在、介護食の「理想的な食事形態」として、広まりつつある食事です。

食べ物を飲み込むためには、歯でかみ、すりつぶし、出てきた唾液を食べ物と混ぜ、ほおの筋肉で寄せて、固まりを作って舌で食道へ送り込む作業を行います。健常な人は、この作業を自然に行えますが、咀嚼力の低下している人・飲み込む機能が低くなった人・片マヒの障害のある人など、様々な摂食障害がある人はこの作業を自然に行うことができません。

ソフト食とは、障害で食べ物を飲み込める固まりまで作れない人のために、初めから調理の中でばらつかないように固まりを作り、食べ物が変形する程度の軟らかさで、食道にスムーズに入っていくようにしたものです。しっかりと形がありながらも、舌で押しつぶせるかたさがあるので、摂食障害のある人でも食べられます。

私達は5月末にソフト食を実際に調理している施設へ見学に行ってきました。6月には厨房職員全員で勉強会を開き、自分たちで作ったソフト食を試食し、出来ばえを検討しました。

今後、試行錯誤を繰り返しながら、職員一丸となって一歩一歩前進していきたいです。



ソフト食の勉強会

看護職員より

梅雨明けを迎えるこの季節、熱中症や脱水症には十分な注

意をしていただきたいです。

暑くなって来ると、皆さんも食欲がなくなったりすると思いますが、老化は『乾燥の過剰である』といわれることもあり、高齢者は特に、脱水症になりやすいのです。

脱水症の兆候としては、口の渇き、口唇・舌・皮膚（特に脇の下）の乾燥が見られ、発熱・頻脈・脱力感・食欲不振があり、放っておくと、血液濃度が高まり、血液が固まりやすく脳梗塞をひきおこすこともあります。

通常1日に必要な水分量は1500ml程ですが、高齢者が多いききょうの里では嚥下障害がある方も多く水分摂取は難しいところでもあります。

その対応として、1度にたくさんの水分を飲むのではなく、時間をかけて、マメに水分を摂取するようにし、水分補給には効果的なスポーツドリンクの様なものを使用しています。それでも摂取が困難な場合には、トロミをつけたり、お茶・紅茶の寒天ゼリーを厨房で作ってもらったり、アイスクリームにて代用することによって水分補給も行えています。これからの時期はかき氷もいいかもしれませんね。

では皆さん、体に気をつけて暑い夏を乗り切りましょう。



沼田市在宅介護支援センターききょう

在宅介護支援センターでは、高齢一人暮らしの方への定期訪問や、高齢者の介護に関する相談に応じたり、サービス利用申請手続きの代行、在宅介護に関する相談に応じ、関係機関やサービス提供者との連絡調整を行っています。

相談については、在宅介護支援センターにお越しいただくほか、お電話や、ご自宅に訪問するなどにより行っています。市内5ヵ所に在宅介護支援センターがあり、市委託による公的な相談・支援機関ですので、安心してお気軽にご相談下さい。お問い合わせは、沼田市在宅介護支援センターききょう（沼田・池田中学校区）23-8816 金子まで。

(その他の地区については沼田市地域包括支援センター22-1112までお問い合わせください。)

AEDの設置について

当法人では、救急救命の必要性を考慮し、ききょうの里玄関にAEDを設置致しました。その後、利根沼田広域消防本部による講習会を行い、全職員に周知徹底致しました。

AED (Automated External Defibrillator) とは、日本語で「自動体外式除細動器」といい、突然心臓が止まって倒れてしまった人の心臓のリズムを、心臓に電気ショックを与えることにより再び正しいリズムに戻し、蘇生するための治療機器です。平成16年7月から一般市民の使用が可能になりました。

今後の予定

☆デイサービス

- 8月 夏祭り(2~4日)
- 9月 敬老運動会(中旬)
- りんご狩り(下旬)
- 10月 室内運動会(上旬)
- 衣類販売(下旬)



☆ききょうの里

- 8月 納涼祭(19日)
- 花火大会(29日)
- 9月 敬老食事会(16日)
- ぶどう狩り(下旬)
- 10月 りんご狩り(中旬)



☆ユニット型☆

- 8月 納涼祭(23日)
- 花火大会(29日)
- 9月 敬老食事会(中旬)
- ぶどう狩り(下旬)
- 10月 りんご狩り(中旬)



編集後記

年々暑さが増すことに驚かされる夏がやってきました。

今年も短い夏に待ち遠しい予定が多くあることと思います。

わが家では未だエアコンに頼らずにいます。そんなせいか、たまに吹く風の涼しさには特にほっとします。

「季節ならではの美味しい食べ物を前に食欲がないとはもったいない!」「暑い夏をただ過ぎゆくのを祈るのではもったいない!」

風鈴の音色や夜風などで気分転換し、まさに心身共に夏バテしないよう短い夏を楽しんで乗り切って行きましょう。

